

お医者さんが語る 放射能汚染に負けないための

日々の暮らしの処方箋

世界中に広がった放射能汚染の現実の中で
私たちはどうやって生命と健康を守っていけばいいのでしょうか
低線量内部被ばくに負けないためにどう暮らしたらいいのでしょうか

講師：児玉順一 内科医師

日時：6月18日(日) 開場 PM 2:00

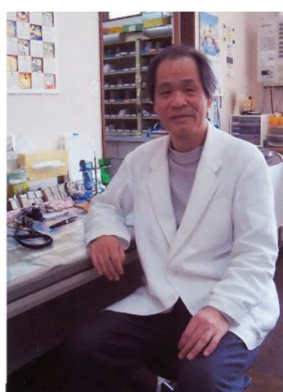
講演 PM 2:30 ~ 4:30 (質疑応答含む)

会場：常総生協本部 2階 組合員活動室
(守谷市本町281)

参加費：500円 資料として「アヒンサー6号」と
「日本からの手紙講演録」を配布します

- ★ 託児サービスあります。事前にお申込みください。
- ★ 参加申し込みは、常総生協へ連絡をお願い致します。
常総生協 0297-48-4911(担当 やなぎまち)まで

どなたでも
参加
できます



< 児玉順一医師 プロフィール >

高校の社会科の教師から、群馬大学医学部入学・卒業。
埼玉医科大学勤務を経て、埼玉県ときがわ町でこだま医院開院。
内科の臨床に携わりながら、低線量被ばくの研究を続けられ、各地で講演をしておられます。2014年には常総生協で講演をして頂き、その時の講演録を「脱原発と暮らし見直し委員会 講演録チーム」で出版しました。

***** 著書紹介 *****

「A LETTER FROM JAPAN」日本からの手紙
「活性酸素とミトコンドリアの物語」
「レイチエル・カーソンの遺産」

常総生協で
出版・販売
しています

* 低線量被ばくがもたらす健康への影響がわかりやすく解説されています *

主催：常総生協 脱原発と暮らし見直し委員会
賛同団体：関東子ども健康調査支援基金